

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー	平成7年3月20日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
文化・教養	文化・教養専門課程	広告・写真・Webデザイン科	平成29年度 名称変更申請中	-																				
学科の目的	企業コラボレーションやインターンシップで実践力を培い、印刷やフォトスタジオ、デザイン事務所等で即戦力となるグラフィックデザイナー、イラストレーター、Webデザイナー、フォトグラファーを育成する。																							
認定年月日	平成 28 年 2 月 19 日																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																	
	3年	3532時間	600時間	0時間	2932時間	0時間	0時間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
115人	48人	0人	3人	14人	17人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																			
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件		卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・学園祭実行委員・海外授業 ほか ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) ※3年制課程移行2年目のため卒業生なし ■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																			
	■卒業者数 : - 人 ■就職希望者数 : - 人 ■就職者数 : - 人 ■就職率 : - % ■卒業者に占める就職者の割合 : - % ■その他 : - %				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数													
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者32名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者32名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																							
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp/visual-design/feature/																							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留学」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱わ)

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。 ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。 			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
委員会は専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。また、上記以外でも意見が必要な時には随時会長を通じ意見を伝えることが出来る。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成29年2月21日現在			
名前	所 属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 学校長	2016/4/1～	②
池田 孝司	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部 課長	2016/4/1～	②
前田 健一	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部 課長	2016/4/1～	②
白石 創	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～	②
竹田 侑里	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～	②
下山 尋子	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～	②
大城 陽功	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～	②
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	2016/7/7～	①
松原 俊哉	株式会社アドウィル 代表取締役	2016/7/7～	③
松山 拓也	(株)マツヤマ・デザイン 代表取締役	2016/7/7～	③
望月 智	(株)ジェットスタジオ 取締役	2016/7/7～	③
立石 広志	オオゼキ写真印刷株式会社 制作三課 係長 ディレクター	2016/7/7～	③
柳沢 新	フリーイラストレーター	2016/7/7～	③
富澤 郁	フリーイラストレーター	2016/7/7～	③
柏木 浩樹	株式会社プライト出版 代表取締役	2016/7/7～	③
高橋 佳佑	株式会社ビビット キャリア事業部	2016/7/7～	③
伊藤 進太郎	有限会社カルディア 専務取締役	2016/7/7～	③
平井 伸幸	株式会社レポル 取締役本部長	2016/7/7～	③
田中 裕一	丸八不動産グループ ホルテポヌール フライダル部長	2016/7/7～	③
伊地知 淳史	株式会社ラディエンス スタッフ 専務執行役員	2016/7/7～	③
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
(開催日時)			
第1回 平成28年7月19日 10:00～12:00			
第2回 平成28年12月13日 10:00～12:00			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
<p>※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。</p> <p>■ご意見1. 表現メディアの展開・表現力を進化する授業を継続・発展させ実施してほしい</p> <p>・活用1:1年次に修得した「紙媒体での広告表現」をもとに、多チャンネル+レベルアップを2年次の目標とした。</p> <p>→「映像表現」(金原)「Webデザイン1」(鈴木:クリエイティブ系にシフト)「アニメーション」(矢倉)の授業において、メディアを活用する展開へ</p> <p>→「写真応用」(杉本):写真表現力の進化</p> <p>■ご意見2. 海外授業におけるビジュアルコミュニケーション授業をより、発展させ実施してほしい</p> <p>・活用2:留学生向け学生寮への宿泊は実現。現地大学での交換授業は、見学中心となった。</p> <p>→「ビジュアルコミュニケーション」「比較文化研究」…2年次前半より予定通り実施</p> <p>一月に一度のネイティブスピーカー指導は、予定通り実施</p> <p>■ご意見3. 地域産業と連携した企業コラボレーション授業、発展させ実施してほしい</p> <p>・活用3:花業界とのコラボレーションを通じて、生産～販売(プロモーション)を一貫しての体験型授業を実施</p>			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
①学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する			
<ul style="list-style-type: none"> ・「社会活動の諸問題を解決するコミュニケーションデザイナー育成」のため、クリエイティブの表現力をベースに、クライアントのニーズ聞き取り、問題の精査と解決プランの立案、コンセプト決定、実制作、プレゼンテーションを実践から学ぶ。 ・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に自分の言動を変えることを学ぶ。 <p>②好きな絵を描くことから、お客様の都合(納期、志向、予算、手法)に合わせたコミュニケーションツールを柔軟な発想から提案できる学生を育てる。実習においては進め方をクリエイティブ関連企業の常識に倣い、実践力を培う。</p>			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
「遠州鉄道(株)」様などの企業や「やらまいかミュージックフェスティバル」様などの団体と連携し、学んだ内容をセールスプロモーションや告知活動の現場で活かす方法を実践的に学んでいる。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
企業コラボレーション	企業や団体の活動へ共に参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	遠州鉄道(株)	
専攻B:映像	卒業後の進路に映像クリエイターを目指している学生を対象に、プロモーション映像・番組などのドキュメンタリー映像など、目的に合わせた映像制作を行います。	遠鉄アシスト(株)	
UXデザイン	社会活動・市民生活における問題解決に欠かせない「利用者の体験」を重視したビジュアルコミュニケーションを企画・制作します。	静岡県庁農芸振興課	
企業コラボレーション	企業や団体の活動へ共に参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	イオンモール浜松市野	
企業コラボレーション	企業や団体の活動へ共に参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	日豊資材(株)	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・海外授業派遣(シンガポール) ※引率兼ねる
- ・横浜トリエンナーレ視察

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・海外授業派遣(シンガポール) ※引率兼ねる
- ・「広告セミナー」参加

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・海外授業派遣(イギリス) ※引率兼ねる
- ・「ACC Creativity Awards」視察

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベイト・アカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるような体制に変更した。
- ・実例として、学生・保護者からのクレームやご意見を、集約・共有するために職員室に「クレームノート」を常備してはどうか、との委員からの提言を受け、4月1日より、「クレームノート」に記載するルールが出来た、等。
- ・本校のHPに「学校評価報告書」として、「財務計算に関する書類」とともに、年度初めに公開している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年2月21日現在

名前	所属	任期	種別
阿部 徹	元静岡県教育長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	学校運営協力企業委員
安武 伸朗	UX(User Experience)Shizuoka 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	企業等の委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ
URL: <https://www.rad.ac.jp/information/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)
(7) 学生納付金・学修支援	募集要項 (公式Webサイト)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.rad.ac.jp/>

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程 広告・写真・Webデザイン科）平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩計画	色相・明度・彩度・トーン・配色といった色彩に関する基礎理論を学び、カラーデザイン検定3級合格を目指します。世界標準のカラーシステム「PANTONE」を基準に、実践的に学びます。ここで得た知識は、あらゆるイラスト・デザイン制作に応用していきます。	1前	24		○			○		○		
○			美術・デザイン史	絵画・彫刻・建築・服飾などの各分野における近現代の美術・デザインの作品や思想を学ぶことで、普遍的な価値観や現代デザインの方向性、審美眼を磨きます。	1前	24		○			○			○	
○			トレンド分析研究	ファッション・ヘアメイク(衣)+食文化(食)+建築・プロダクト・雑貨(住)など、デザインやイラストの計画・表現に欠かせない、現在のライフスタイルや変遷を学び、多様性が増す時代に適した、問題解決としての提案や表現の幅を広げます。	1後	24		○			○			○	○
○			デッサン	デッサンの基本である、遠近法・明暗法・質感描写・立体表現の技術を学び、モノの形を正確に捉え表現する力を養います。これをイラストレーション等の作品制作に、あるいはカンパ等のイメージを伝える力として活かします。	1通	48					○	○			○
○			パーススケッチ	イラストという2次元表現において、空間を描くための「遠近法」は、必須の基礎技能です。イラストやマンガの背景画を、違和感のない表現で可能となるように「遠近図法」と「透視図法（一消点透視図法～二消点透視図法）」の習得を目標とします。	1通	48					○	○			○
○			造形基礎	デザイン制作の基礎となる、色彩と形による画面構成、素材の特性を活かした表現、それらが織りなす美しさを学び、平面を中心とした基礎造形力を高めます。	1前	48					○	○			○
○			学科ゼミA	学内外で実施する学校主催のイベントや企業コラボレーションなどを学科3学年が合同で企画・運営することにより、ディレクション・スケジューリングなど物事を進める協働作業のノウハウを学びます。	1通	120					○	○			○
○			DTP	Illustrator、Photoshopのアプリケーションソフトの使い方を学ぶことで、あらゆるデザイン業務に必要なMacを用いたDTPの技術を初歩から習得します。また、名刺やチラシ等の制作を通して印刷に関する基礎知識を身に付けます。	1後	72					○	○			○
○			イラストレーション基礎	アナログ画材を中心とした表現テクニックを学び、イラストレーションによるメッセージ表現力を高めることで、気持ちが伝わるイラストレーション制作を行います。	1通	96					○	○			○
○			写真基礎	グラフィックデザイン業界で必須となる写真表現が出来る様、シャッター速度と絞りの関係やアングル・トリミングなど写真表現の基礎を学びます。	1通	96					○	○			○
○			広告表現	ターゲットとする企業・商品を題材に、現状分析・企画・カンパ制作・DTP作業といった広告制作の流れを学ぶことで、広告制作に必要な考え方や具体的な作業が出来る様になります。	1後	72					○	○			○
○			発想法	物事を分解することで本質を探ったり、既成概念を外した柔軟な発想をトレーニングすることで、ビジュアルコミュニケーションに必要なアイデアの発想法を学ぶ授業です。	1前	48					○	○			○
○			広告研究・コピー論	メインビジュアルとコピーの組合せによる広告表現の基本を過去の事例から学び、確実に伝わる筋の通った広告制作が出来る様になります。	1通	24		○			○				○

○		タイポグラフィ	文字のデザイン、文字組の特性、文字のタイプフェイスが与える印象などを学びます。アナログでレタリングを行うことで文字の特徴を理解し、文字を活用したインパクトあるポスター制作等、広告の重要な要素である文字の基礎を学びます。	1後	48						○	○				○	
○		デザイン概論	世の中にあるあらゆる広告物の研究を通じ、広告はどのように考え・作られるのか、その一連の流れを学び演習として制作することで広告物制作に必要な基礎知識を得ます。また、業界研究を通じて、最新のデザイン情報を蓄えます。	1後	24			○				○				○	
○		インターンシップ I	デザイン・イラスト制作企業にて職場見学を行うことで、求められるスキルやレベル、社会人として働く上でのルールを学び、今後自分が目指していく職種や業界の研究を行います。	1後	40						○		○	○		○	
○		修了制作	テーマに基づき総合的なデザイン・イラスト制作を行い、1年間の集大成となる作品制作を行います。これにより2年次への進級認定を受けます。	1後	144						○	○				○	
○		清掃と挨拶 I	校訓である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立つ人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	1通	30			○				○				○	
○		ビジネストレーニング I	社会人として必要な一般常識や就職活動における筆記試験対策として、英語・国語・社会の分野を中心に論文制作を含めて学習を行います。	1通	30			○				○				○	
○		キャリア研究・LHR I	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	1通	60			○				○				○	
○		表現展開(映像表現)	プロモーション映像、報道などのドキュメンタリー映像の2分野を中心に映像表現研究や、映像表現技術(撮影・編集)と映像による心理描写などの理論を学び、伝わる映像制作を行います。	2前	96						○	○				○	○
○		表現力強化A(写真表現)	1年次に修得したデジタルカメラを使用したの写真撮影技術を応用し、より表現力豊かな作品制作を行います。広告写真や人物写真等、心を揺さぶる写真表現を修得します。	2通	96						○	○				○	
○		表現力強化B(イラスト表現)	アナログ・デジタル両方面から幅広いイラスト表現の習得を目指します。クライアントの要望や媒体に合わせた表現技術の習得をめざしポスターやパンフレット、雑誌などに使われる実践的なイラスト表現を身につけます。	2前	48						○	○				○	
○		DTP II	1年次に学んだDTPの基礎技能を生かし、多種多様な印刷物の制作から文字組のルール、写真・図版の配置、印刷用データの作り方を学びます。	2前	48						○	○				○	
○		業界別:アートディレクション	広告制作で必要不可欠な、コンセプト立案～コミュニケーションアイデアの構想～実制作といった一連の流れを理解し、グループワークで広告物制作を行うことによりアートディレクションの実践を行います。	2前	48						○	○				○	
○		業界別:社内グラフィックデザイン	企画書・社内報など、企業活動全般で汎用的に必要とされるデザインスキルを学び、デザイン専門企業以外の一般企業での販売促進・サイン案内の制作が出来る様になります。	2前	24						○	○				○	
○		ディスプレイ	広報の媒体として、印刷物やネットだけでなく、POPや商品構成等の店頭での表現が重要な要素の一つです。ビジュアル表現としての販売促進技能であるディスプレイ手法を理論と実技から学び、成果として国家資格である商品装飾展示技能検定3級取得を目指す。	2通	48						○	○				○	
○		企業コラボレーション	企業や団体の活動へ共に参加・体感し、問題点の抽出や解決策を提案します。具体的な成果物の開発と制作を通じて企業や団体と連携した問題解決型のデザイン制作を行います。	2通	96						○	○				○	○
○		コピーライティング	これまでの受賞広告作品におけるコピーを研究し、広告表現に必須な「刺さるコピー」のトレーニングを行います。伝えるメッセージの本質を探り、短い最適な言葉を選び出すことが出来るようになります。	2前	24						○	○				○	

○	○	業界別：アートディレクションⅡ	様々なクライアントニーズに対応する実践的な広告デザインスキルを学びます。	3通	96					○	○			○
○	○	業界別：社内グラフィックデザイン・販売促進	2年次に学んだデザイン技能をベースに「商品購買の直接的な動機付け」の手法を学びます。業界別にアイデア展開の仕方や、チラシ、DM、ポスターなど、セールスプロモーションツールの制作を実習を通して理解していきます。	3通	96					○	○			○
○		UXデザイン	社会活動・市民生活における問題解決に欠かせない「利用者の体験」を重視したビジュアルコミュニケーションを企画・制作します。	3通	96					○	○			○
○		企業合同授業	6週間ごとに合計4名のディレクターにお越し頂き、実際のデザインワークを仮想的なインターンシップ形式で学びます。	3通	96					○	○			○
○		学科ゼミC	学内外で実施する学校主催のイベントや企業コラボレーションなどを学科3学年が合同で企画・運営することにより、ディレクション・スケジュールリングなど物事を進める協働作業のノウハウを学びます。	3通	120					○	○			○
○		海外提携	海外授業と連動し、「渡航国」で「提案」「問題解決」することを目的としたカリキュラム。渡航先の教育機関や公共団体・企業と提携し、学生がこれまで学んできた技能を活かした、日本流のデザイン・イラスト制作を現地で実践するための企画・制作・プレゼン準備を計画的に実施します。	3通	96					○	○			○
○		海外授業Ⅱ	「海外提携」と連動しながら、海外のデザインや文化を実体験する学科別の必須授業です。渡航先での美術館・博物館など専門施設の視察、現地大学等での交換授業等、現地で専門分野の授業を経て、帰国後のレポート提出までを単位化します。3年次では、自身のデザイン・イラスト技能を活かした日本流の「提案」「問題解決」を、渡航国で実践することを目的とします。	3後	56					○				○
○		インターンシップⅢ	デザイン・イラスト制作企業にて職場見学を行うことで、求められるスキルやレベル、社会人として働く上でのルールを学び、今後自分が目指していく職種や業界の研究を行います。	3後	40					○				○
○		卒業制作	3年間の集大成となる総合的な作品制作を行い、卒業認定に必要な評価を受けます。	3後	156					○	○			○
○		清掃と挨拶Ⅱ	校訓である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や、日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立つ人材・自ら問題解決が出来る人材となることを目指します。	3通	30					○				○
○		社会人トレーニング	社会人基礎力を身に着けるために、1「前に踏み出す力」(主体性、実行力など)、2「考えぬく力」(想像力、計画性など)、3「チームで働く力」(発進力、柔軟性、ストレスコントロール力など)を演習を通して身に着けます。	3通	48					○				○
○		キャリア研究・LHRⅢ	キャリア研究では、5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。LHRでは学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	3通	60					○				○
○		比較文化研究Ⅱ	海外授業渡航前に設定した各自の「日本」と「渡航国」での比較項目テーマを、渡航国で取材・撮影した写真・資料・文献や、帰国後に調査した資料を加えて、研究成果としてスライドにまとめ・発表を行います。	3後	12					○				○
合計				58科目		3532単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー	平成7年3月20日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	プロマンガ科	平成29年文部科学省告示 号外第39号	-			
学科の目的	作画技法やマンガ技法といった実践的テクニックやストーリー・アイデアづくりに役立つ発想力を磨き、世界に作品を発信できる漫画家を育成する。						
認定年月日	平成 28 年 2 月 19 日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	2年	2328時間	480時間	0時間	1848時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	6人	0人	1人	10人	11人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価		
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件		卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか ■サークル活動: 有		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) マンガプロダクション・屋外広告・CG制作会社		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施						
■卒業者数 : 7 人		■就職希望者数 : 6 人		■就職者数 : 6 人		■就職率 : 100 %	
■卒業者に占める就職者の割合 : 85.7 %		■その他		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
(平成 28 年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)							
中途退学の現状	■中途退学者 0 名		■中途退学率 0 %		平成28年4月1日時点において、在学者13名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者13名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。また、上記以外でも意見が必要な時には臨時会長を通じ意見を伝えることが出来る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年2月21日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 校長	2016/4/1～2017/3/31	②
池田 孝司	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部 課長	2016/4/1～2017/3/31	②
前田 健一	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
白石 創	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
竹田 侑里	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
下山 尋子	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
大城 陽功	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	2016/7/7～2017/3/31	①
松原 俊哉	株式会社アドワイル 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
松山 拓也	(株)マツヤマ・デザイン 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
望月 智	(株)ジェットスタジオ 取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
立石 広志	オオゼキ写真印刷株式会社 制作三課 係長 ディレクター	2016/7/7～2017/3/31	③
柳沢 新	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
富澤 郁	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
柏木 浩樹	株式会社フライト出版 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
高橋 佳佑	株式会社ビビビット キャリア事業部	2016/7/7～2017/3/31	③
伊藤 進太郎	有限会社カルディア 専務取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
平井 伸幸	株式会社レボル 取締役本部長	2016/7/7～2017/3/31	③
田中 裕一	丸八不動産グループ ボルテポヌール プライダル部長	2016/7/7～2017/3/31	③
伊地知 淳史	株式会社ラディエンス スタッフ 専務執行役員	2016/7/7～2017/3/31	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成28年7月19日 10:00～12:00

第2回 平成28年12月13日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

マンガ表現の基本である人物デッサン方向上は必須であり、デッサン授業におけるキャラクターデッサン力の強化を実施。作品発表や持ち込み活動の質・量的向上は作品への客観視に不可欠であるため、Vivvit等企業との協力を得てネット上の作品発表サイトの活用強化を実施。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する
 ・「社会活動の諸問題を解決するコミュニケーションデザイナー育成」のため、クリエイティブの表現力をベースに、クライアントのニーズ聞き取り、問題の精査と解決プランの立案、コンセプト決定、実制作、プレゼンテーションを実践から学ぶ。
 ・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に自分の言動を変えることを学ぶ。
- ②好きな絵を描くことから、お客様の都合(納期、志向、予算、手法)に合わせたコミュニケーションツールを柔軟な発想から提案できる学生を育てる。実習においては進め方をクリエイティブ関連企業の常識に倣い、実践力を培う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

(株)ビビビット様との連携により、ポートフォリオ作成や作品公開に関する指導の実施。また天竜警察署など地域団体・企業との連携により、マンガ・イラスト表現が地域や企業活動に貢献できる産学協同授業を展開した。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
フィールドワーク	ストーリーマンガ以外の表現方法の一つとして、広報マンガや解説マンガがあります。企業や店舗などへ企画・提案・取材・制作を行い、相手が求める作品とは何かを学びます。また、作品集の一部としても就職活動へ活かします。	静岡県警天竜警察署
フィールドワーク	ストーリーマンガ以外の表現方法の一つとして、広報マンガや解説マンガがあります。企業や店舗などへ企画・提案・取材・制作を行い、相手が求める作品とは何かを学びます。また、作品集の一部としても就職活動へ活かします。	(株)三幸コーポレーション
ポートフォリオ編集	就職活動やスカウトに役立てるポートフォリオの制作を行います。ファイリングから作品解説のコピーなどを学ぶとともに、相手にプレゼンテーションできる技術を身につけます。また、ウェブを使ったポートフォリオも制作します。	(株)ビビビット
デジタルコミック応用	CLIP STUDIO PAINTを用いた実践的なノウハウ、テクニックを学ぶことで、デジタルでの作画をより効率的に完成させる技術を身につけます。	遠鉄アシスト(株)
セールスプロモーション	「購買の直接的な動機付け」の手法学びます。アイデア展開の仕方や、セールスプロモーションツールの制作を実習を通して理解していきます。	魚魚一

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・海外授業派遣(プラハ・チェコ) ※引率兼ねる ・「ルーブルNo.9展」(名古屋松坂屋美術館)視察 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森谷浩志様) ・「描く!マンガ展」(豊橋美術館)視察			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ・「大阪デザイナー専門学校 卒業制作展」視察 ② 指導力の修得・向上のための研修等 ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修)			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベトナムアカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標		
(2) 学校運営	2 学校運営		
(3) 教育活動	3 教育活動		
(4) 学修成果	4 学修成果		
(5) 学生支援	5 学生支援		
(6) 教育環境	6 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集		
(8) 財務	9 財務		
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム		
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるように体制に変更した。 ・実例として、学生・保護者からのクレームやご意見を、集約・共有するために職員室に「クレームノート」を常備してはどうか、との委員からの提言を受け、4月1日より、「クレームノート」に記載するルールが出来た、等。 ・本校のHPIに「学校評価報告書」として、「財務計算に関する書類」とともに、年度初めに公開している。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
平成29年2月21日現在			
名前	所属	任期	種別
阿部 徹	元静岡県教育長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	学校運営協力企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience)Shizuoka 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	企業等の委員
※委員の種類の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームページ URL: https://www.rad.ac.jp/information/			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)		
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)		
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)		
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)		
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)		
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)		
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)		
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)		
(10) 国際連携の状況	—		
(11) その他	—		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法 URL: http://www.rad.ac.jp/			

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 プロマンガ科) 平成29年度													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			美術・デザイン史	絵画・彫刻・建築・服飾などの各分野における近現代の美術・デザインの作品や思想を学ぶことで、普遍的な価値観や現代デザインの方向性、審美眼を磨き、デザイナーに必要な知識を体系的に学びます。	1前	24	○			○			○
○			デッサン	デッサンの基本である、遠近法・明暗法・質感描写・立体表現の技術を学び、モノの形を正確に捉え表現する力を養います。これをマンガのイメージを伝える力として活かします。	1通	96			○	○			○
○			トレンド分析研究Ⅰ	ファッションや家具、プロダクトデザイン、アニメーションなど、世の中で流行しているものを観察し、トレンドの理由を探ります。ここで得られた知識は、マンガに登場するキャラクターの服装、背景画などに活かされます。	1後	24	○			○			○
○			デジタルコミック基礎	電子書籍やWebでの作品発表が急速に増加している昨今、デジタル作品のクリエイターも、より高い技術が求められています。アナログ感覚を下地とした高いデジタル描画力を学びます。	1後	72			○	○			○
○			演劇	発声練習や表情の作り方、ストーリー構成やキャラクター設定、演出など、演劇のメソッドを学びます。演劇を通じて、心の動きと身体の動きの仕組みを理解することで、制作にも応用します。	1前	48			○	○			○
○			写真構図	写真表現に欠かせない画角の知識。広角・標準・望遠といった視野の知識やレンズの特徴を学ぶことで、バリエーション多彩な構図を学びます。あわせて、一眼レフの基本的な技術を学び、資料写真撮影に役立ちます。	1前	24			○	○			○
○			キャラクターデッサン	キャラクターの全身、表情を描けるようになることが目的の授業です。人体のバランスやキャラクターの描き分けなどを学ぶことで、キャラクターデザインの基礎を身につけます。	1通	96			○	○			○
○			ネーム研究基礎	マンガ制作の重要な要素の1つである「シナリオ」について学ぶ授業です。自らオリジナルのキャラクター・場面を確実に設定し、物語の骨子を作れるように学びます。	1通	96			○	○			○
○			物語力向上対策Ⅰ	制作に必要な「アイデア出し」「頭を柔らかくする」「トレーニングを行うことで、物事を分解し、再構成する力を身につけます。ストーリー構成や世界観、キャラクター設定など、表現するための基礎的スキルを習得します。	1通	96			○	○			○
○			マンガ制作基礎	画材の使い方から、キャラクターの基本的な描き方、物語作りのポイントなど幅広く、マンガ制作に必要な基礎および技術を、実践を踏まえながら、身につけます。	1通	96			○	○			○
○			空間遠近・背景技法	平面である絵画に空間を表現する遠近法は欠かせない基礎技術です。マンガ作品の舞台となる、それぞれの場面の空間描写を可能とする「透視図法」「空気遠近法」などを習得します。	1後	48			○	○			○
○			同人誌編集	制作したマンガの冊子をつくります。制作を通じて編集方法、エディトリアルデザインといった、DTPのスキル習得を目指します。	1後	24			○	○			○
○			漫画検定対策	漫画能力検定協会が主催する漫画能力検定は、本格的に漫画を学ぶことを目指すために、客観的な評価を行う実技検定として、漫画やキャラクターを描いてそのレベルを測ります。	1後	24	○			○			○
○			色彩論	色相・明度・彩度・トーン・配色といった色彩に関する基礎理論を学び、カラーデザイン検定3級合格を目指します。ここで得た知識は、あらゆるイラスト・デザイン制作に応用していきます。	1前	24	○			○			○
○			フィールドワーク	ストーリーマンガ以外の表現方法の一つとして、広報マンガや解説マンガがあります。企業や店舗などへ企画・提案・取材・制作を行い、相手が求める作品とは何かを学びます。また、作品集の一部としても就職活動へ活かします。	1前	24			○	○			○
○			インターンシップ	自らの専攻や将来の職業に関連した就業体験を行う活動です。授業で得た知識を企業実習の場で活用し、その後の進路のビジョン、働く意義、社会に出る前の自らの課題が就業経験をする事により明確になります。	1後	40			○	○			○
○			修了制作	1年間の学習成果としてテーマに沿ったマンガ制作を行い、2年への進級認定を受けます。	1後	144			○	○			○
○			清掃と挨拶Ⅰ	本校の行動の原点である「明るくあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	1通	30	○			○			○
○			日本学・浜松学	「我が家、我が町、誕生、命名の誇り」「災害と戦争を克服した我が家の生き方」「デザインのプロの心得と在学半年間の反省」「成人1年前にその意味を考察する」の4回の授業を通じ、日本人としての原理原則を家族・地域の生き方から思い出し学び直します。	1通	12	○			○			○

○		7つの習慣J I	7つの習慣とは自分自身の目標やこうなりたい自分というものを達成するための道具を手に入れる授業です。すべての専門授業や自立した就職活動のベースとなります。	1通	30	○	○	○												
○		ビジネストレーニング I	社会人に必要なビジネスマナー・一般常識・社会の仕組みを学び、企業の採用試験や面接でのアピール力を身につけます。	1通	30	○	○	○												
○		キャリア研究・LHR I	キャリア研究では、自分の価値観を研究し、将来にわたる職業計画や目標を立てます。それに基づき、業界研究や企業研究を行い、目標の実現を目指します。LHRでは、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	1通	60	○	○	○												
○		色彩論	色相・明度・彩度・トーン・配色といった色彩に関する基礎理論を学び、色彩検定3級合格を目指します。ここで得た知識を、あらゆるデザイン制作に応用していきます。	2前	24	○	○	○												
○		トレンド分析研究 II	ファッションや家具、プロダクトデザイン、アニメーションなど、世の中で流行しているものを観察し、トレンドの理由を探ります。各業界の最新トレンドから得られた知識は、イラスト作品集や持ち込みマンガの企業に向けたアピール度を高める効果があります。	2通	96			○	○											
○		マンガ制作応用	物語に沿った演出を考え、トーンの使い方・ペンタッチなど、適した表現方法を中心に探究し、身につけます。その中で作画の基礎、仕上げの完成度を上げ、マンガの質をより高めます。	2通	120			○	○											
○		漫画キャラクター検定1級対策	1年次受験した検定の上級合格を目指します。指定された設定とストーリーに合わせて、背景を描き、個性的な3体の全身キャラクターで指定された表情やアクションを描く技術を高めます。	2前	48	○														
○		物語力向上対策 II	読者や顧客の「共感」や「感情移入」という感情面で興味を引き、魅力的なゴールを提案できる方法を学びます。また、自分の前に壁が立ち塞がっても乗り越えるための思考力を身につけます。	2前	48			○	○											
○		セールスプロモーション	「購買の直接的な動機付け」の手法学びます。アイデア展開の仕方や、セールスプロモーションツールの制作を実習を通して理解していきます。	2前	48			○	○											
○		ネーム研究実践	マンガ/アニメーション/映像/3DCG等の表現でも、シナリオの構成力は不可欠です。1年次に身につけた、「起承転結」を明確にする技術をさらに向上させ、長編作品制作を可能にする能力を身につけます。	2通	96			○	○											
○		ポートフォリオ編集	就職活動やスカウトに役立てるポートフォリオの制作を行います。ファイリングから作品解説のコピーなどを学ぶとともに、相手にプレゼンテーションできる技術を身につけます。また、ウェブを使ったポートフォリオも制作します。	2後	36			○	○											
○		コミック表現応用	より広い読者に受け入れられるコミック表現を実現にするべく、人物の表情や心理描写、情景描写など、人物と背景作画の表現技術を学びます。	2後	36			○	○											
○		海外授業	比較文化研究と連動しながら、海外のデザインや文化を実体験する授業です。事前に訪問国の文化、民族、習慣等の学びから、現地で専門分野の授業を経て帰国後のレポート提出までを単位化とします。	2後	56			○	○											
○		卒業制作	2年間の学習成果として総合的なマンガ表現制作(ルポ漫画・4コマ漫画・ストーリー漫画・広告提案漫画)を行い、専門課程修了の認定を受けます。	2後	336			○	○											
○		挨拶と清掃 II	本校の行動の原点である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	2通	30	○		○	○											
○		7つの習慣J II	7つの習慣とは自分自身の目標やこうなりたい自分というものを達成するための道具を手に入れる授業です。すべての専門授業や自立した就職活動のベースとなります。	2前	12	○		○	○											
○		キャリア研究・LHR II	キャリア研究では、自分の価値観を研究し、将来にわたる職業計画や目標を立てます。それに基づき、業界研究や企業研究を行い、目標の実現を目指します。LHRでは、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認を行います。	2通	18	○		○	○											
○		比較文化研究	海外授業で訪問する国を題材に、固有の歴史・文化とデザインの関係性について研究することにより、日本に暮らす一人の人間として世界に向けて何を発信すべきかを探ります。	2後	60	○		○	○											
○		ビジネストレーニング II	社会人に必要なビジネスマナー・一般常識・社会の仕組みを学び、企業の採用試験や面接でのアピール力を身につけます。	2前	30	○		○	○											
合計					40科目	2328単位時間(単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー	平成7年3月20日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル・トータルビューティー科	平成29年文部科学省告示 号外第39号	-																				
学科の目的	お客様の美を引き出し、最高のステージに送り出すための美容技術や接客マナー、ブライダル知識をトータルで身に付けたブライダルプランナー・ビューティーアドバイザー・エステティシャン・ネイリスト・ファッションアドバイザーを育成する。																							
認定年月日	平成 28 年 2 月 19 日																							
修業年限	昼夜	講義		演習	実習																			
	2年	228時間	548時間	0時間	1738時間																			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
	80人	37人	0人	2人	12人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価 ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																				
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日			卒業・進級 条件 卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施			課外活動 ■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターナショナル・海外授業 ほか ■サークル活動: 有																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 結婚式場、ネイルサロン、エステサロン ■就職指導内容 インターナショナルに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施			主な学修成果 (資格・検定等) ※3																				
	■卒業生数 : 17 人 ■就職希望者数 : 17 人 ■就職者数 : 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : 100 %			■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ技術検定</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>ビューティコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	17	8	メイクアップ技術検定	③	20	20	ネイリスト技能検定	③	17	15	ビューティコーディネーター検定	③	17
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	17	8																					
メイクアップ技術検定	③	20	20																					
ネイリスト技能検定	③	17	15																					
ビューティコーディネーター検定	③	17	15																					
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者13名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者13名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																							
当該学科のホームページURL	https://www.rad.ac.jp																							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、卒業生数のうち就職者総数の割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。また、上記以外でも意見が必要な時には随時会長を通じ意見を伝えることが出来る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年2月21日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 学校長	2016/4/1～2017/3/31	②
池田 孝司	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部 課長	2016/4/1～2017/3/31	②
前田 健一	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
白石 創	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
竹田 侑里	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
下山 尋子	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
大城 陽功	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	2016/7/7～2017/3/31	①
松原 俊哉	株式会社アドウィル 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
松山 拓也	(株)マツヤマ・デザイン 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
望月 智	(株)ジェットスタジオ 取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
立石 広志	オオゼキ写真印刷株式会社 制作三課 係長 ディレクター	2016/7/7～2017/3/31	③
柳沢 新	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
富澤 郁	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
柏木 浩樹	株式会社ブライ出版 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
高橋 佳佑	株式会社ビビビット キャリア事業部	2016/7/7～2017/3/31	③
伊藤 進太郎	有限会社カルディア 専務取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
平井 伸幸	株式会社レボル 取締役本部長	2016/7/7～2017/3/31	③
田中 裕一	丸八不動産グループ ポルテポヌール プライダル部長	2016/7/7～2017/3/31	③
伊地知 淳史	株式会社ラディエンス スタッフ 専務執行役員	2016/7/7～2017/3/31	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する産業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成28年7月19日 10:00～12:00

第2回 平成28年12月13日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・普段からのコミュニケーションが情報開示に繋がる。コミュニケーションが取れば、無理に聞かずとも相手から話してくる。女性は解決したいわけではなく、言いたいだけという特徴を鑑みている。
→「経営学」にて1年次1期に「女性の現場で働くとは。=組織力」をシラバス導入。2年次1期にて「就職活動共有と会社の見方」をシラバス導入。自分の気持ちや状況を言葉で「共有」する事で、「話してもいい」状況を作り、相手が「何を考え、どんな思いを持っているのか」を理解できる場となる。「サロンワーク」を1年次3期から導入。1年次にベーシックとなるサロンワークの流れや所作を習得することにより、就職活動やインターンシップでの職業理解と専門性のレベルを向上できる。

・学生には業界の現実を見せてモチベーションを一旦落として少し上げてから入社してもらうことが理想
→2年間を通し、業界の実情を理解させる事と「試練」や「挫折」となる経験をさせるきっかけを与える。「サロンワーク」…トータルビューティーサロンをOPENし、学内の学生や卒業生をお客様とし、サロンワーク実践し、厳しいご意見を頂く。また、お客様への対応の課題を発見。「模擬披露宴」…2年間のプライダル集大成を上演。自分達が実現したいものではなく、お客様のための内容を実現させる。「就職企業説明会」…自身の習得技能の現状と企業の求める人材像との差を実感させる。

・各インターンシップでの目的意識を明確にして実施することが重要(学生にも企業様にも)
→目的の確立…1年次7月→業界理解と社会の理解。1年次11月→定まりつつある職種に対し、業界の方向性を再確認。また、就職先として検討中の場合は、職場理解とアピール戦略を立てる。1年次2月→就職先として検討中の場合は、職場理解とアピール戦略を立てる。また、福利厚生や教育システムが比較的整っているサロンを中心に見学する。

・評価項目も大事だが、インターンシップへの姿勢が大事。サロンに来た瞬間に〇×は付けられる。「やらされてる感」を感じる学生が増えた。
→インターンシップは、クラスに対し経験者による報告会と共有会の時間を設け、参加に対し抵抗感を持っている学生に、クラスメイトからアドバイスを受け、参加を促し、抵抗感を軽減させる。また、事前訪問を実施し、第一印象や事前準備の大切さを理解し、企業側へも安心感を与える。

・資格検定も大切だが、研修がモチベーションにもなる。広く無関係の資格取得をさせる企業もある。
→専門的な資格取得も大事であるが、仕事で自ら率先して身に付けなければならない技術や知識の資格取得も目指す。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

① 学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する

- ・「採用して喜ばれる」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。
- ・社会人としての素養習得のために、「明るいあいさつ、人より早く」と「使う前より、きれいなトイレ掃除」を率先垂範できる人材を育成する。
- ・日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う。

② ブライダル、ビューティーをトータルで学ぶ当学科は、外部企業との連携によりブライダル・メイク・ネイル・エステ部門の専門教育を強化する

- ・就職時に業界や企業とのギャップを埋めるため、1人2社以上のインターン実習を実施し、学生への理解を深めた。
- ・国内研修・海外授業において国内外の企業との授業提携を行い、地域性や世代を幅広く捉え世の中の傾向に対応できる。
- ・企業コラボレーションや学外授業にて企業との提携を増やし、一方、特別授業依頼を依頼し、互いに有益な効果(win-win)をもたらす。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

「ブライダル」の授業において、1年次は浜松市内の結婚式場5～6ヶ所(例:(株)プラス、(株)鳥善等)へ訪問し、式場の基本的な在り方や現役プランナーによる職業解説、各会場のプランニングの特徴を学ぶ。2年次は、衣装レンタル・式場を業態とする(株)ラビアンローゼと連携し、衣装スタイリスト講習、模擬結婚式の実現からブライダル業界における知識・技術・サービスを網羅し身に付ける。また、本校の授業単位ともなる「インターンシップ」では、ネイル・リラクゼーションサロンを運営する(株)ビューティースマイルや(株)PMKメディカルラボ等にて、現場実習(サロンワーク、接客法)、業界研究(各業界の職種理解)を実施。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクテクニックⅡ	メイク技術の応用である、フルメイク・カウンセリングメイク・イメージメイク等、身に付け提案し、メイクアップ技術検定2級取得を目指す。	有限会社クラージュ
ネイルテクニックⅡ	ジェルネイル、アート、ブライダルネイルの技術を習得し、ネイル検定2級取得に必要な技術も身に付ける。	ネイルサロン ラ・スール
ネイルテクニックⅠ	ベーシックな爪のお手入れから、ネイル用品の扱い、塗り方など基本技術を身に付け、ネイル検定3級取得を目指す。	株式会社ビューティースマイル
経営学Ⅱ	企業の仕組みや業績拡大の構造、店舗経営に至るまで、サロン運営に必要な利益・原価計算や会計全般など数字を用いた知識を習得し経営目線を学ぶ。	株式会社ビューティースマイル
ブライダルコーディネートⅡ	ブライダルの基礎知識の応用として、オリジナルウェディングを形にできるよう、プランニング～運営、お客様サービスまでを実践形式で学び発表する。	株式会社ラビアンローゼ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・海外授業派遣(アメリカ) ※引率兼ねる
- ・国内研修派遣(東京、年度2回) ※引率を兼ねる
- ・東海地区美容師養成施設研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・リーダーシップ研修(株式会社ENSOU 代表取締役 小森谷浩志様)
- ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修)
- ・東海地区理容師美容師養成施設教職員研修会(専門周辺知識向上研修)

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・海外授業派遣(アメリカ) ※引率兼ねる
- ・国内研修派遣(東京、年度2回) ※引率を兼ねる
- ・東海地区美容師養成施設研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・新任教員研修(教育方針研修・就業規則研修・教務部研修)
- ・ホワイト企業研修会(教務部次長1名参加予定)
- ・東海地区理容師美容師養成施設教職員研修会(専門周辺知識向上研修)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部的目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベッ・アカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9)法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・平成28年度より、学校関係者評価会議の実施月を前年度の2月末に行い、評価結果を、次年度の学校運営にすぐに反映できるような体制に変更した。
- ・実例として、学生・保護者からのクレームやご意見を、集約・共有するために職員室に「クレームノート」を常備してはどうか、との委員からの提言を受け、4月1日より、「クレームノート」に記載するルールが出来た、等。
- ・本校のHPに「学校評価報告書」として、「財務計算に関する書類」とともに、年度初めに公開している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年2月21日現在

名前	所属	任期	種別
阿部 徹	元静岡県教育長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	学校運営協力 企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	企業等の委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: <https://www.rad.ac.jp/information/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)
(3)教職員	講師・設備 (公式Webサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)
(6)学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)
(10)国際連携の状況	—
(11)その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.rad.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ブライダル・トータルビューティー科) 平成29年度															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	校内	校外	専任	兼任	
○				ブライダル知識	ブライダルの定義や歴史を初めとする、婚礼の基本知識の習得と実際の結婚式場での見学を通し、婚礼の形式やブライダルプランナーの仕事内容を理解し、プランニング提案のための土台となる知識を学びます。	1通	96		○		○		○		○
○				経営学Ⅰ	社会における「組織」についての仕組みや女性社会で円滑に渡り歩くための思考を学び、会社・サロン運営での目標達成や利益を上げる為の組織作りのノウハウを習得します。	1後	24		○		○			○	○
○				ビューティーコーディネーター検定対策	近年増え続けている、レセプション職や技術者が技術以外のサロンワークを理解すべく、ビューティー業界のビジネス検定に相当するビューティ・コーディネーター検定3級の取得を目指します。	1後	24		○		○				
○				メイクテクニックⅠ	メイク用品の扱い、スキンケア、ベース作りを中心に、ポイントメイクの基礎、自分に似合うメイクを身に付け、メイクアップ技術検定2・3級とセルフメイク検定の習得を目指し、技術と知識を習得します。	1通	120			○	○			○	○
○				ネイルテクニックⅠ	ベーシックな爪のお手入れから、ネイル用品の扱い、塗り方など基本技術を身に付け、日本ネイリスト技能検定3級検定取得を目指します。また、ネイルサロンに必要なジェルネイルの基本技術も習得します。	1通	120			○	○				○
○				エステテクニックⅠ	ハンドマッサージ・フットマッサージの習得とフェイシャル技術の基礎を身に付け、更にエステティシャンに必要な基礎知識を学び、RAD認定エステティックライセンス(ベーシック)の取得を目指します。	1通	120			○	○			○	
○				ヘアデザインⅠ	ヘアマネキンを使用しての反復練習を行い、基本的な道具の使い方・髪を扱う方やまとめ髪の基本である夜会巻からパーティーヘアなどのアップスタイル術、また自身に施す簡単アレンジ術を習得します。	1通	96			○	○			○	
○				ファッションコーディネートⅠ	人をより良く魅せるための手法のひとつである「洋服」と「ウェディングドレス」を使って、お客様に似合うアイテム選びの基本知識である体型・TPO・色柄・素材・シルエットの知識とファッションセンス向上を目指します。	1前	24			○	○			○	
○				インナービューティー(マナーⅠ)	内面的・外面的な美しさが、自然に表現できるよう、ホスピタリティー精神を身に付け、業界の見本となる姿を作り出します。また、「サービス接客検定2級」の取得。サービス接客実務について理解を持ち、サービスに必要な知識と技術を習得を目指します。	1通	48			○	○				○
○				インナービューティー(ベルブリス)	身体と心と精神の「健康美」を目指します。美の根源となる「心」と「体内」を育み、健康に生活するための習慣を骨盤体操とヨガの精神をもとに身に付けます。	1前	24			○	○				○
○				和装・着付けⅠ	和装の入門である浴衣の着付けを自装・他装共に習得し、ブライダル・ビューティー業界全般で活躍するための基礎ぎ技術を習得します。	1通	48			○	○				○
○				ビジュアルセンス	クリエイティブ力向上のため、商品・作品提案に大切な企画・想像・表現する力を各制作段階ごとに専門性を求めて習得します。	1通	48			○	○			○	
○				カラーコーディネート	色の種類や色の原理を始め、人の肌に合うパーソナルカラーを学び、業界における色彩を必要とする場面での「選ぶ力」を習得します。また、色彩技能パーソナルカラー検定取得を目指します。	1後	24		○		○				○
○				サロンワークⅠ	お客様と施術者を、学生同士で行い、実際にお客様へのサービスをシミュレーション形式で行います。また、サロン空間の再現と接客技術の習得により、お客様とのコミュニケーションを学び笑顔の接客を目指します。	1後	24			○	○			○	
○				【選択】アロマ	美容五感の一つである香りの観点で「アロマセラピー」の知識や使用注意、歴史などを学び、アロマ検定の取得を目指します。また、さらに、これらの知識は様々な場面で美容やサービスをサポートしてくれます。	1後	12		○		○			○	
○				【選択】フォーマルウェア	フォーマルウェアの知識と着方のルールを学び、ブライダルや公式の場面での正しい着用法を習得し、フォーマルスペシャリスト検定準2級取得を目指します。	1後	12		○		○			○	
○				修了制作	1年間の学習成果として「テーマ」に合わせた作品制作を行い、これまでの成果と今後の可能性を感じ2年への進級認定を受けます。	1後	72			○	○			○	
○				インターンシップ	自らの専攻や将来の職業に関連した就業体験を行う活動です。授業で得た知識を企業実習の場で活用し、その後の進路のビジョン、働く意義、社会に出る前の自らの課題が就業経験をする事により明確になります。	1後	40			○	○			○	○
○				清掃と挨拶Ⅰ	本校の行動の原点である「明るいあいさつ、人より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	1通	30		○		○			○	
○				ビジネス基礎	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	1通	30		○		○			○	

○	キャリア研究Ⅰ	5年後10年後の目標に向けた職業計画や、自分自身の過去を振り返っての自己分析を行います。また学んだことを活かす職種や業界の研究を行い、就職活動に活かします。	1通	60		○	○	○		
○	プレゼンテーション演習Ⅰ	作品やプランを提案するための作成法と発表技術の向上を通じ、ビジネススキルとしてのプレゼンテーションテクニックを高めつつ、修了制作発表、卒業制作発表に活かします。	1後	12		○	○	○		
○	パソコンプレゼンテーション	パソコンの基礎的な使い方および近年多く登場する動画制作スキルを学び、プレゼンテーションにおける手法を身に付けます。また、ビジネスソフトWord、ExcelやPowerPointの使い方を学び、社会人として必要なITスキルを身につけます。	1前	24			○	○	○	
○	経営学Ⅱ	企業の仕組みや業績拡大の構造、店舗経営に至るまで、サロン運営に必要な知識を習得し就職活動の共有作業を通じて経営者目線も学びます。	2通	24		○	○	○		○
○	POP広告Ⅱ	POP広告作成に関する基礎的な技能をもとに応用的実践的な実習を行い、POP広告検定の取得を目指し検定対策を進めます。	2前	48			○	○	○	
○	ABC検定対策	ブライダル業界に必要な知識として、業界・サービス・婚約～婚礼・婚礼雑貨までの定義と意味を習得し、ABC検定の取得を目指します。	2後	48		○		○		○
○	メイクテクニック	メイク技術の応用として、ポイントメイク・フルメイク・カウセリングメイク・イメージメイク・パーソナルメイク・アートメイクの技術を身に付け、提案ができるよう学びます。また、メイクアップ技術検定1級取得を目指します。	2通	96			○	○		○
○	ネイルテクニック	ネイル業界に必要なジェルネイルとネイリスト検定2級の技術習得を目指します。また、エンボスや3D等、様々なデザイン手法を学びデザインの幅を広げます。	2通	96			○	○		○
○	エステテクニック	ボディマッサーからフェイシャル機器の応用までの知識と技術を学び、フェイシャル・ボディの総合的な知識と技能を習得しRAD認定エステティックライセンス(アドバンス)の取得を目指します。	2通	96			○	○		
○	ヘアデザインⅡ	多様なヘアデザイン構築技術を習得し、TPO・衣装に合ったヘアアレンジやブライダルヘアの提案・構築、カウセリング方法、ヘアセットチェンジ術まで応用技術を習得します。	2通	96			○	○		
○	ファッションコーディネートⅡ	1年次に学んだコーディネート基礎やフォーマルウェアなど活かし、お客様をより魅力的に魅せるコーディネートテクニックを学びます。また、花嫁のトータルコーディネート提案も習得します。	2後	24			○	○		○
○	販売対応スキルⅡ	お客様により満足して頂くための販売のテクニックを実践形式で学びます。お客様の購買意欲・心理や現場での売り上げにつながるテクニックを身に付けます。	2後	24			○	○		
○	ブライダルコーディネートⅡ	ブライダルの基礎知識の応用として、オリジナルウェディングを形にできるよう、プランニング～運営、お客様サービスまでを実践形式で学び発表します。	2通	96			○	○		○
○	インナービューティー(ベルグリス)	身体と心と精神の「健康美」を目指します。美の根源となる「心」と「体内」を育み、健康に生活するための習得を骨盤体操とヨガの精神をもとに身に付けます。	2前	24			○	○		○
○	サロンワークⅡ	ビューティー業界全般のサロン計画・運営を行う。予約業務から当日の施術、施術後のアフターフォローに関する知識を習得し、卒業後即戦力としてサロンで活躍できる実践力を身に付けます。	2後	72			○	○		
○	和装・着付けⅡ	就職先で即戦力になる着付けアシスタントの技術習得や①年次の復習(浴衣自装・他装の着付け)着物、袴、羽織、長襦袢、留袖、打掛、振袖のたたみ方や着付けのヘルプ業務の習得を目指します。	2通	48			○	○		○
○	卒業制作	2年間の学習成果として総合的な技術試験と作品発表を行い、専門課程修了の認定を受けます。	2後	156			○	○		○
○	海外授業	比較文化研究と連動しながら、海外のブライダル・ビューティーや文化を実体験する授業です。事前に訪問国の文化、民族、習慣等の学びから、現地で専門分野の授業を経て帰国後のレポート提出までを単位化とします。	2前	56			○		○	○
○	比較文化研究	海外授業で訪問する国を題材に、固有の歴史・文化とデザインの関係性について研究することにより、日本に暮らす一人の人間として世界に向けて何を発信すべきかを探ります。	2前	24		○		○		○
○	清掃と挨拶Ⅱ	本校の行動の原点である「明るいきれいな、より早く」「使う前よりきれいな、トイレ清掃」や日頃の清掃・整理整頓を実践し、社会で真に役立てる人材となることを目指します。	2通	30		○		○		○
○	ビジネス基礎Ⅱ	専門分野以外で社会人に必要な一般常識習得やコミュニケーション能力向上をLHR形式で習得します。また、学校行事やクラス内イベントの準備、スケジュールや連絡事項の確認も行います。	2通	60		○		○		○
○	就職実務Ⅱ	就職活動スケジュールの確認、連絡事項を行います。面接での自己PRの練習や履歴書作成のブラッシュアップなど自分が就職したいと考える企業へのアピール力を高める授業です。	2前	48		○		○		○
合計			42科目		2286単位時間(単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																		
専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー	平成7年3月20日	中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																		
学校法人 爽青会	平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																		
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																	
文化・教養	文化・教養専門課程	建築士・インテリアコーディネーター科	平成29年文部科学省告示 号外第39号	-																	
学科の目的	住空間(庭を含む)をトータルに提案でき、人や家族のライフスタイルを空間にするインテリアコーディネーター、建築士を育成する。																				
認定年月日	平成 28 年 2 月 19 日																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
	2	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																
募集停止中	-	-	-	-	-																
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																	
長期休み	■学年始:4月3日 ■夏季:7月22日～8月22日 ■冬季:12月26日～1月9日 ■学年末:3月6日		卒業・進級条件	卒業制作合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																	
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前課題の実施(入学半年前より) 保護者との連携 補習の実施		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 インターンシップ・海外授業 ほか ■サークル活動: 有																	
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 住宅設計・工務店		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																	
	■就職指導内容 インターンシップに向けた業界研究指導 就職課・担任との就職面談の実施			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築CAD検定2級</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>リビンスタイリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	建築CAD検定2級	③	7	5	リビンスタイリスト検定3級	③	7	7		
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																		
建築CAD検定2級	③	7	5																		
リビンスタイリスト検定3級	③	7	7																		
■卒業者数 : 8 人		■就職希望者数 : 8 人		■就職者数 : 8 人		■就職率 : 100 %															
■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		■その他 : 100 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																	
(平成 28 年度卒業生に関する平成29年5月1日 時点の情報)		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																			
中途退学の現状	■中途退学者 0 名		■中退率 0 %		平成28年4月1日時点において、在学者13名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者13名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由																
■中退防止・中退者支援のための取組 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) 通学支援制度(交通費または下宿費の一部を支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																				
当該学科のホームページURL	募集停止中のため該当ページなし																				

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う」ことの出来る人材を育成する。 ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、現場主義に基づいた表現力と最新の技術教育を行う。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。 			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
委員会は専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。また、上記以外でも意見が必要な時には臨時会長を通じて意見を伝えることが出来る。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
平成29年2月21日現在			
名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 学校長	2016/4/1～2017/3/31	②
池田 孝司	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部 課長	2016/4/1～2017/3/31	②
前田 健一	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
白石 創	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
竹田 侑里	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
下山 尋子	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
大城 陽功	専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー 教務部	2016/4/1～2017/3/31	②
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	2016/7/7～2017/3/31	①
松原 俊哉	株式会社アドウィル 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
松山 拓也	(株)マツヤマ・デザイン 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
望月 智	(株)ジェットスタジオ 取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
立石 広志	オオゼキ写真印刷株式会社 制作三課 係長 ディレクター	2016/7/7～2017/3/31	③
柳沢 新	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
富澤 郁	フリーイラストレーター	2016/7/7～2017/3/31	③
柏木 浩樹	株式会社フライト出版 代表取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
高橋 佳佑	株式会社ビビット キャリア事業部	2016/7/7～2017/3/31	③
伊藤 進太郎	有限会社カルディア 専務取締役	2016/7/7～2017/3/31	③
平井 伸幸	株式会社レポル 取締役本部長	2016/7/7～2017/3/31	③
田中 裕一	丸八不動産グループ ホルテポヌール フライダル部長	2016/7/7～2017/3/31	③
伊地知 淳史	株式会社ラディエンス スタッフ 専務執行役員	2016/7/7～2017/3/31	③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。			
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)			
②学会や学術機関等の有識者			
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
募集停止学科のため開催・活用はなし			
(開催日時)			
第1回			
第2回			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
募集停止学科のため開催・活用はなし			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
①学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する			
・「社会活動の諸問題を解決するコミュニケーションデザイナー育成」のため、クリエイティブの表現力をベースに、クライアントのニーズ聞き取り、問題の精査と解決プランの立案、コンセプト決定、実制作、プレゼンテーションを実践から学ぶ。			
・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に自分の言動を変えることを学ぶ。			
②好きな絵を描くことから、お客様の都合(納期、志向、予算、手法)に合わせたコミュニケーションツールを柔軟な発想から提案できる学生を育てる。実習においては進め方をクリエイティブ関連企業の常識に倣い、実践力を培う。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
募集停止学科のため連携授業なし			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識及び情操に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等
募集停止学科のため研修実績なし

② 指導力の修得・向上のための研修等
募集停止学科のため研修実績なし

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等
募集停止学科のため研修実績なし

② 指導力の修得・向上のための研修等
募集停止学科のため研修実績なし

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・自己評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、校内施設見学を実施することにより専門学校ルネサンス・デザインアカデミーおよび専門学校ルネサンス・ベイト・アカデミーにおける教育の質保障・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

募集停止学科のため活用状況なし

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年2月21日現在

名前	所属	任期	種別
阿部 徹	元静岡県教育長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	教育専門家
鈴木 かおる	株式会社浜松ビジネススクール 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	学校運営協力企業の委員
安武 伸朗	UX(User Experience) Shizuoka 代表	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	業界・団体委員
原 大二郎	公益社団法人日本動物病院協会 副会長	平成28年2月17日～平成29年3月31日(約1年)	企業等の委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ
URL: <https://www.rad.ac.jp/information/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式Webサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介 (公式Webサイト)
(3) 教職員	講師・設備 (公式Webサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績 (公式Webサイト)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式Webサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介 保護者の皆様へ (公式Webサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項 (公式Webサイト)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類 (公式Webサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書/学校関係者評価報告書 (公式Webサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
URL: <http://www.rad.ac.jp/>

